

# 議会だより

第91号

平成25年1月25日  
(2013)

発行 山ノ内町議会

編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穩3352-1  
☎0269-33-1101 (有)2020  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp  
議会ホームページは  
「山ノ内町議会」で検索!!

山ノ内町議会 検索

## もくじ

第4回定例議会関連記事	16
議長あいさつ・議会全員協議会報告	17
議員協議会・議会活性化研究会報告	18
常任委員会管外視察報告	19
一般質問内容	20
請願・陳情、議会報告会開催	26
町政キャッチボール・編集後記	27

## 平成24年第4回山ノ内町議会定例会

# 一般質問 12人議員が 小学校統廃合問題で質問

平成24年第4回山ノ内町議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間にわたって開催されました。町側からは、専決処分報告・承認、24年度一般会計はじめ5会計の補正予算案、暴力団排除条例などの条例制定3件、条例の一部改正3件、定住自立圏形成協定の締結、消防庁倉庫品購入売買契約の締結などが提案されました。

議会側からは、意見書案2件、議会会議規則の一部改正が提案されました。

審議の結果、すべての案件を全会一致で受理・承認・可決しました。

陳情については、1件を採択、1件を継続審査としました。

12月4・5・6日の一般質問には、13人の議員が登壇しました。とくに小学校の統廃合問題は12人が取り上げ、町側、教育委員会の考えを質しました。



乗降客が利用できるトイレに (夜間瀬駅)

## 平成24年度一般会計補正予算(第4号)

### 長野電鉄夜間瀬駅、上条駅トイレ改修に補助金

歳入歳出それぞれに追加し、歳入歳出予算の総額を60億8,670万8千円とするものです。

歳入では、普通交付税で8,173万円余の増、財政調整基金繰入金で6,612万円余の減、町債410万円余の減、災害復旧費国庫負担金183万円余の増などとなっております。

歳出の主なものは、鉄道駅トイレ整備事業補助金(夜間瀬駅、上条駅トイレ改修)に200万円、庁舎断熱修繕料178万円余、介護保険低所得者

## 条例の制定など

### 暴力団排除条例の制定

「恐れず、資金提供せず、利用せず」を基本に、町、町民、事業者の責務を明らかにし、暴力団排除の推進で町民の安全で平穏な生活の確保及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的としています。

### 水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定

利益剰余金及び資本剰余金の処分及び欠損金の処理について必要な事項を定めて、水道事業の健全な運営を図るうとするものです。

### 私債権管理条例の制定

町の私債権の事務処理

# 新年のごあいさつ

山ノ内町議会議員



## 小 淵 茂 昭

明けましておめでとうございます。皆様にはつつがなく新年を迎えられたことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。昨年は町議会に多大なご支援ご理解を賜り円滑な議会運営が出来ましたことに厚く御礼申し上げます。

第16代議会も今年半期となります。議会改革の一環でありました議員定数課題では、昨年の三月本会議に於いて、賛成多数で町議員定数条例の改定が可決され、次回町議会議員選挙から、定数十四名となります。更に九月議会一般質問から、町理事者及び答弁補助者に対し、「反問権」の

付与を認めまして、従前の議会側からの一方的質問方式でなく、行政と議会双方でのより深まった議論の展開を目指し、実施に到りました。

現在も全議員参加による議会活性化研究会を継続開催中でありますが、議会基本条例の制定や、通年議会の実施など課題が山積みしており、研究を深めてまいります。

本年も地域の声を拝聴したく、第6回の議会報告会を実施いたします。開かれた議会の構築を更に進め、議会の責務に邁進してまいります所存であります。

皆様には、ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。挨拶といたします。

# 議会全員協議会報告

## 平成25～27年度実施計画内容を公表

### 第9回（11月22日）

- ①私債権管理条例の制定について
- ②定住自立圏構想について
- ③第5次行政改革大綱実施計画について

### 第10回（11月30日）

- ①平成25～27年度実施計画について
- ②平成24年度奥志賀高原地区賃貸借契約書の一部変更契約の締結について

### 第11回（12月14日）

- ①東山クリーンセンター



長寿化が検討されている東山クリーンセンター

長寿化計画について  
②地域公共交通計画策定経過について

## 平成25～27年度 実施計画の主な 事業

25年度ほなみ保育園改修・よませ保育園設計に1億347万円、26年度よませ保育園改修・志賀・すがかわ保育園設計に1億30万円。

北信総合病院再構築負担金に25年度1億4、

214万円、26年度1億3、446万円、27年度5、395万円。

学校施設非構造部材の耐震化対策に、25年度300万円、26年度3、000万円。

上林テニスコート改修に25年度4、144万円、26年度5、112万円。

雪氷熱利用施設整備等新エネルギー・省エネルギー事業に25年度3、800万円、26年度5、000万円、27年度5、000万円、27年度500万円。

旧消防署解体・訓練棟建設に25年度3、007万円。

広域消防無線デジタル化負担金に25年度7、500万円、26年度1、770万円。

また、26年度予定だったやまびこ広場整備（噴水公園）8、800万円は27年度に計上されました。

## 第5回議員協議会

- ①特別豪雪地帯指定市町村議会総会提出議案について

## 議会活性化研究会報告

### 第19回（9月27日）

- ①反問権付与に伴う持ち時間の扱いについて
- ②議員からの提言について

### 第20回（10月15日）

- ①第6回議会報告会テーマ、あり方について

### 第21回（11月20日）

- ①議会報告会資料・日程・役割分担について
  - ②審議会等出席者報告
- 第22回（12月18日）
- ①議会報告会資料・アンケート等点検
  - ②審議会出席者報告
- 第23回（1月9日）
- ①議会報告会打ち合わせ

# 目指して先進地を調査

○観光経済 11月7・8日 ○社会文教 11月6・7日 ○総務 10月25・26日

## 小規模特認校 小中併設型で 9年間の一環的教育の2本柱

◎学区の現状  
宮城県白石  
(しろいし)

市立小原小中学校は県南西部に位置する極小規模校です。



小原小学校玄関にて

児童・生徒数は減少を続け、さまざまな問題点が指摘されるようになりました。そこで「小規模特認校として学区外から生徒の受け入れ」「小中併設型校舎を活かした9年間の一環的教育」を2本の太い柱とした特色ある学校運営を目指しました。

◎小中教員の乗り入れ授業

小学校と中学校は約70mの渡り廊下で繋がり、体育館や特別棟は共用しています。平成17年度から小中連携の名の下に、中学校の教員が小学校の一部授業を受け持つようになりました。

◎学区外通学者の受け入れ

これまでの実績は20年度に1名23年度に2名、計3名と少ないが、学区外の生徒が入ってくることで、少人数のクラスで過ごす児童・生徒にとって大きな刺激になっています。今後は積極的にPRをしていきたいとのことです。

◎今後の課題

小中一環的教育が進んでいく中で、新たな課題もあります。9年間を手厚いサポートを受けて過ごす児童

## 社会文教常任委員会

児童・生徒たちに中1ギャップは見られないが高1ギャップがあつてはいけないので、意図的にギャップを設定し、課題克服のトレーニングを行っているところです。一前例のない学校づくりを託されているという自負を大きな心の支えとして「特色ある学校を目指してゆきたい」とのことです。

当方感想

学区外からの生徒のなかには、他の生徒とうまく生活できないなどの問題を持つ子の受け皿ともなっています。

当町としても、子どもの教育環境を検討する上で、参考になる先進事例だと思います。

## 東日本大震災後の現状視察 (仙台空港とその周辺)

空港ロビー内に被災写真が展示されたり「3m02cm」までの津波水位が表示されています。

海岸べりは、工事車両が行き交いインフラ整備が急ピッチで進んでいます。その一方で100基もの墓地は真新しくなっていますが、1軒だけ残された家屋の一階部分は柱だけしか残っていない姿に、住民生活の復旧はいまだに進んでいないと感じました。

震災から2年が過ぎようとしている今、為政者の「本気」「やる気」が求められています。



早期復旧が待たれる仙台空港付近

## 総務常任委員会

### 税の収納状況についての現状と対策

福島県福島市

復興のための除染費用等新たな国の予算配分の結果、経済が活性化しており市税の収納が増えている状況です。また滞納も減り、良好な状態です。今後の問題点は特需後に現在の状態を継続できるかにかかっています。



福島市役所にて

### 原子力発電所に対する防災の対策状況

新潟県柏崎市

収納促進・滞納対策は、同じ担当者が地区割りにて徴収義務者に長期にわたり対応している手法は当町でも参考にになります。

平成25年4月に向けて、地域防災計画(原子力災害対策編)の見直しに着手しています。新潟県内の市町村による原子力安全対策に関する研究会と、県の実務担当者がワーキンググループを作り避難計画(暫定版)を策定中です。防災対策の広域展開と実効性のある避難対応(多様な避難手段の利用と近隣県も視野に

# より良い山ノ内町を 常任委員会管外視察報告

## 空き家対策と地域おこし

### 協力隊の取り組み実態を学ぶ (小谷村ほか)

◎空き家等の適正管理に関する条例など

過疎化や高齢化、更に人口減少が進み、管理されず倒壊や建材飛散の恐れがある「空き家・廃屋」は全国的に増加傾向にあります。

県内で初めて飯山市と小谷村が地域の安全・安心を確保することを目的に「空き家等の適正管理に関する条例」を制定しました。

小谷村は人口3,500人、世帯数1,250戸、高齢化率35%、さらに5年間で700人も減少し、人口減少率は県下で2番目となり、また、実に村内の10%以上にのぼる135戸の空き家があります。管理不全な空き家については村が調査し、危険な場合には補修や取り壊しの勧告、命令ができる仕組み、更に所有者不明の場合や命令に従わない場合には、行政代執行法に基づいて村が所



小谷村役場にて

## 観光経済常任委員会

所有者が変わって雪下ろしから取り壊しまでできる「代執行」を可能にしたことは注視すべきことであると考えます。

当町においても豪雪による建物の倒壊や野生鳥獣の棲家になる恐れもあることから地域の安全・安心の確保から早めの対策が必要ではないかと感じました。

◎地域おこし協力隊の導入

急速に進む過疎化、村内産業の極度な低迷限界集落から消滅集落へ。「ふるさとが無くなってしまう」という強い危機感があります。宿泊施設や加工施設のハードはあるが、ソフトが弱い。新たな発想でブレインとなる強力な事業推進体制が必要であるとして、営業本部的な取り組み発想で役場内で縦横断的に取り組む「特産推進室」を発足。色々な制度の研究と導入を行い、地域と村が一体となつて「地域おこし協力隊」導入をはじめ地域おこし、活性化に向けて取り組んでいます。



小谷村地域おこし資料

総務省の制度である「地域おこし協力隊」は現在、公募により7名の隊員が地域にとけ込み活躍しています。

入れる避難場所・県による自治体間の調整・受入市町村の避難所運営等)、平時からの備えの充実(防災研修の広域展開・防災知識の普及・実効性のある防災訓練の実施)についてのマニュアル作成に向けて検討中の段階です。国の原子力規制委員会の原子力災害対策指針の策定を待ち再度の計画見直しをする予定です。

現状は検討段階で具体的には実施していません。解決方法が見えない難しい問題であり、実効性に苦慮している状況が見えます。

## 新エネルギーの取り組み 状況

栃木県那須塩原市

那須野ヶ原土地改良区連合は、約4万haのエリアと標高差約480mを生かした少水力発電所3か所を設置しています。補助金を活用しての取り組みであり、自治体単独で行うには採算性が低い事業といわざるを得ません。

その他の視察地

宮城県岩沼市 東日本大震災の復興状況  
福島県・栃木県の放射線量調査



那須塩原市土地改良区

# 一般質問

## 学校は誰のものか



山本良一 議員

33年単数学級解消をしなかった理由は。

**教育長** そういふ声が上がらなかつたと想像するが、私もまだ子どもだったからよくわからない。

**質問** 学校は誰のものか。町長 学校は集団教育の場として未来ある子どもたちが教養や知識、社会性を身に付ける大切な場。

**教育長** 学校は子どもたちが学ぶ場であり、子どもたちのためにあるといえる。

**質問** 学校設置者は誰か。**教育長** 山ノ内町である。

**質問** 学校は山ノ内の町民のものなので、閉校廃校は、まず町民の判断が重要「子どもたちのためにある」と言えば、子どもたちは今、舞台上で主役を演じているが保護者も含め、卒業と同時に舞台を降りてしまう。だから、地域に対しての説明が非常に大切。

「拙速・統合ありき」との指摘をどうとらえるか。

**教育長** ご意見として伺った状況である。

**質問** 西小は16年、北小は

**質問** 今になって急にということで、お母さん方は、びっくりしている。(長年)放置しておいて、なんで今急に2クラスなの」という声が非常に強い。こういう所をキチッと説明できない

と「余りにも強引だ」という声が出てくる。  
**文科省**は今後5年間で複式学級定員を8人から6人にする定数改善計画を出しているが、そうするといままでの説明は変わってしま

**教育長** 新計画については把握していないが、複式学級を解消するための統合でも、北小のために統合するのではない。



閉校する理由が全くわからない、西小学校

## 統合の必要を教育方針で示すべきではないか

徳竹栄子 議員



**教育長** 教育懇談会の提示が人数の推移等が中心で教育の本来・将来の議論がな

**質問** 例として地域の勉強・学力の保障・英語力・校技スキー等学校教育方針を示さねば教育環境議論より

**教育長** 子どもはどう育つ

た良いか教育委員、地域住民も考えを持つ事が必要。



4小600名余の子どもをどう育てるか

**質問** 観光連盟は、会員団体、会費が減少の現状、スリム化、スピーディーが

**町長** 連盟内部で検討を進めて頂きたい。数年前に検討され結果未定で隣の部屋を用意準備して空いている。

**質問** スキー100周年事業、町内小学生600名余無料バス券北志賀スキー場

参加、志賀高原不参加、町の子どものため

内全山フリーバスで滑れる

山ノ内であつて欲しい。町長はどう思うか。

**町長** 今後反省をし索道協会と一緒にスキー振興、子どものスキー環境を十分踏まえ考えていきたい。

**質問** 一時須賀川断層の不安、相次ぐ2回の地震、コミュニティの場、避難場所等重要な北部公民館耐震工事の前倒しのお考えは。

**町長** 財政問題で27年度調査費とし必要に応じ補修する。

**その他の質問**  
○新幹線飯山駅の交通手段  
○六次産業の推進について

# 町内13会場で行われた

## 教育懇談会の感想は

高山 祐 一議員



**教育長** 各地区で貴重なご意見を伺った。活発なご意見、討議をいただきありがたいと思う。

**質問** 町民の発言、意見で心に残った言葉は何か。

**教育長** 特に早く統合してほしい、非常に拙速だ等の様々なご意見である。

**質問** 財政上の問題から、新校舎建設はないと決めつけているが、それは町長からの指示か。

**教育長** 跡地利用等の面から今の校舎を有効活用することが肝心と教育委員会では考える。

**町長** 行政委員会の教育委員会で鋭意検討している段階であるので、まだ町長の立場として口を挟むことはない。「万事公論に決する」を念頭に、子どもたちの教育環境をどうするかを中心に考えたい。

**質問** 校舎が一番新しいのは南小であるが、教室数が足りない。一方、東小は教室数は足りているが、裏山が地滑り地帯、グラウンドはかえで保育園と共用、スクールバス運用にも若干問題ありの状況で、はつきりどこの小学校へ統合といえない矛盾や苦しさはあるか。

**教育長** なかなか厳しい質問だが、全とお金をかけないなら別だが、子どもたち

の教育環境を最優先に考え、検討していく。

**質問** 平成31年度を見れば、町内全小学生が443人、全中学生と合計702人、山中のキャパシティは当時1500人だった。小中同じ校舎でという考えは、

**教育長** 生徒数の減少により、普通教室棟を特別教室棟に改築しているので、キャパシティ上難しい。



統合は東小でよいのか

## 通学路の安全確保や小学校統廃合は

西 宗 亮 議員



### 通学路の安全確保は

**質問** 通学路の安全確保、事故防止対策は進んでいるのか。また、これからの冬

期間はカーブミラーが凍結して見えにくくなるので対策を講じられないか。

**教育長** 特に危険と思われる19か所を中心に関係者と緊急合同点検を行い、対策を講じてきている。

安全確保は教育の中で実践するとともに関係者と連携して更に進めていきたい。

## 小学校統廃合について



できる所からでも歩道確保を

**質問** 通学区の再編についても検討、議論されたのか。

**教育長** はつきり打ち出して報告はしていないが、他市町村の取り組みも勉強したい。

**質問** 小学校統廃合に関しては地域、保育園、地域の活性化、学校施設跡利用など総合的な施策は考えているのか。

**町長** 一定の方向が出れば議論していくようになるが、自助・共助・公助を基本とし、町として総合的に判断して対応していきたい。

**観光振興対策について**

**質問** 志賀草津高原ルートの早期開通はできないのか。

**町長** 志賀草津高原ルートは物流、人的交流で貴重な観光幹線道路である。観光面で重要性は高く、関係機関に陳情もしているが群馬県側と道路の実情が大きく違い温度差がある。

**質問** 湯田中駅で毎日のようにボランティアで通訳をしていただいている方がいることを皆で認識し、第一線に立つている方のご意見も聞き、更にウエルカムにつなげることが大切ではないか。対応について問題提起する。

# 教育行政について



布施谷 裕泉 議員

**質問** いじめ問題について、各学校から提出されているマニュアルにかなりの温度差を感じる。いじめられた子どもが転校を余儀なくされるような事態は絶対にさけるべき。

**教育長** マニュアルだけ見ると統一感に欠けることは否めない。今後町としても整備していきたい。

**質問** 今回の教育懇談会、あまりにも人数にこだわった説明に終始した感がある。その前に町の目指す教育についての提案があつてしかるべき。

**教育長** 町が目指す教育というブランドデザインをしっかり策定していきたい。

**質問** 中1ギャップをどのように捉えているか。

**教育長** 小規模の学校から行った子どもたちが陥りやすいという考え方もあるが、



毎日の日課になっている下校時の歌声



中野平中学 共同の学びのグループ学習

私はそうは捉えていない。

**質問** 子どもたちの自ら学ぶ姿勢を引出し、仲間意識を醸成する教育の意識改革として広がりを見せる、学びの共同体をどう考えるか。

**教育長** すべての子供が学習に参加し教師主導の教え込みではない学習スタイルに私も注目している。

**質問** 当町で取り入れる考

えはないか。

**教育長** 授業日数も減ってせつば詰まった中で教師主導の教え込み授業は危惧しているが、今のところその考えはない。

**その他の質問**

- 新幹線飯山駅開業をどう活かす
- そば植え付けを産業振興につなげるために
- 雪室利活用の構想は

## 小学校の教育環境の今後のあり方は



渡辺 正男 議員

同じ状況が数校に拡大する」となっている。北小と同じ状況が、何年度、どの学校に拡大するのか。

**教育長** この数校についてはしっかりと把握していない。

**質問** 間違つた先入観を持たせる資料だ。また「28年度には複式になってしまふ」の説明も、過疎債を使つて町単独の加配教員をつ

はひとつではない。この問題では、子どもたちの意見も聞くべきでは。

**教育長** 方法はいろいろあると思うが、検討したい。

**質問** 中1ギャップと呼ばれる中身について、不登校以外に現学級に行けない子どもたちは何人いるのか。

**教育長** 中学での不登校は9人だが、ほかに保健室登校が2人、心の相談室が5人、はばたき教室が3人。

**質問** 大変な問題だ。子どもたちの学習環境で議論すべきは、適正規模や統廃合だけではない。

**質問** 町民からの意見集約の方法は。

**教育長** 今後教育委員会内で議論を深め、決定していきたい。審議会の構成、諮問内容についても同様。

**質問** 正確でちゃんとした資料・情報の提供が意見集約の大前提と考えるが。

**教育長** 予定している教育委員会主催の説明会ではそのようにしていきたい。

**質問** 教育懇談会の資料3「あり方検討委員会のまとめ」には「今後は、これと



北小西小3年生合同のそばの種まき体験学習 (7月24日)

# 今後の小学校のありかたについて

小根澤 弘 議員



**質問** 教育懇談会への参加者数は多いと思うか。

**教育長** 多いと思う。

**質問** 教育懇談会の参加者は教育委員会の説明を理解されたと思うか。

**教育長** 理解されたと考えている。しかし、賛同できるかはそれぞれである。

**質問** 地域の歴史を学ぶ、地域の人と接して学ぶ、子どもとして自分を学ぶ上で、今の4小学校の方がいいと思うか。

**教育長** 今後の事を考えた時に適正規模の中で学んでいくことがベターである。

**質問** 今の4小学校のように先生に個人で教えてもらい学力を伸ばした方が子どものためではないか。

**教育長** 子ども同士が切磋琢磨して人間関係を作ることが大事であり、適正規模で子どもを育てていくこと

が必要である。

**質問** 平成28年の統合方針は変わらないのか。

**教育長** 教育懇談会が全て終わっていないが現時点では変わらない。

**質問** 地域のみなさまへの周知は完全になされたと思うか。

**教育長** 完全に周知されたという認識はない。

**質問** 未就学児の保護者や教育懇談会に出席できな

った地域のみなさまへ統合についてのアンケートか意向調査を実施してはどうか。

**教育長** 現在のところは、まだ検討中。

**質問** 新幹線飯山駅構内の観光案内所に山ノ内町を熟知した人を採用して欲しい。

**町長** 職員選考については飯山市を中心に9市町村長で一定の方向が出たら町、内部として9市町村の連携の中で十分対応していく。



環境の良い学校で学べる子どもは幸せ！

# 当町の地域振興について

田中 篤 議員



**質問** 歴史的・文化的に多様で特徴のある当町の各地域振興のため、援助はどのようにしているか。

**町長** 当町の各地域はそれぞれの長年の歴史や文化がある。不易流行の尊重、歴史や伝統を大切にするとともに時代にマッチした、そしてニーズに沿った改革を行い、住む人訪れる人にもくもりのある郷土を目指す。

**総務課長** 観光および農産物の宣伝、インフラの整備

依頼、制度資金の活用、金融の保証料・利子の一部負担、農業機械導入補助等の施策をしている。地元の皆さんと協力して歴史・文化を活用した地域の特徴を活かした振興策も行っている。地域の主体的な取り組みと協力並びに提案が必要と感じている。

**質問** 地域特有の良さを生かす振興手段が効果を発揮していないと思う。行政主導ではなく、各区等地域に予算を与え住民の裁量の中で実施する。行政はサポートに回るような手法を取り入れる気はないか。

**町長** 地域活性化補助金等があり提案を求め、町で精査して出てきたものはほとんど受け入れている。また必要においては県の「元気づくり支援金」を薦めるなどサポートをしている。町は地域と一緒に振興の支援をしていく。

**質問** 現在のやり方では町に裁量権が残る。町のお金は住民のもので、行政の都合で裁量で左右されるのは心外である。地域に自主性を持たせることが活力

につながる。住民を信じ大胆に資金を投じて地域振興を行ってほしい。



須賀川そば種まき

# 町の振興策は



小林 克彦 議員

**質問** 町の人口が減少する著しい出生数の減や町税がピーク時から半減している現状から、振興策をどのようにに図られるか。

**町長** 知名度の高い志賀高原・湯田中・温泉郷・北志賀高原の三つの観光エリアとブランド力がある農産物のさらなる振興と広域的に新たな産業の誘致を図って雇用の創出に結びつける。

**質問** 今ある観光、農業に加えて新たな働く場、雇用の場を確保しなければ今日の諸問題は解決しない。製造業等の企業誘致・起業に取り組みべきと考えるが、町長 参考にした。支援できるものは支援したい。

**質問** 地方交付税制度を止め消費税を全額地方税とし、自治体間の税収格差は道州制の枠組みの中で是正を図るといふ議論がされている。

自治体の根幹をなす大きな問題であり、私はどちらにも反対であるが今後地方六団体の意思が重要となる。町長の考えは。

**町長** 地方交付税は全ての国民生活を等しく守るためにあり存続を主張していく。道州制は基本的に反対。

**質問** 北部地区診療所の再開の進捗状況はどうか。

**町長** これまでは個人医院の開業の形で進めてきたが

無理となつたため、北信病院に開設を要望して検討をしていただいている。病院長と再度具体的な協議をするので須賀川区からいただいた要望書を持参し説明をしていく。

## その他の質問

○財政規律について

○国道403号の整備について

○小学校のあり方について



町の大事業所は役場と農協

# 衆議院の解散、総選挙。しっかり見極め、選択を

湯本市 蔵 議員



**質問** 町のリーダーとして見解を。争点は、消費税の増税、原発・エネルギー政策、TPPの是非、社会保障、外交・安全保障など沢山ある。政党も沢山で判断しづらい状況だが、何が重要と思うか。

**町長** 過去の国政選挙では、大切な選挙と言われながら投票率を見ても冷ややかな現実が残念。争点はみな重要。投票率アップ、国政参加をPRしたい。

**質問** 小選挙区制の5回をみると、死に票が大体過半



平成24年12月執行の衆議院議員選挙公報の一部  
当町の投票率59.76%、前回は16%余り下回る

数を超え、比較第1党は4割台で議席の7割を取る。その結果、政権交代が起きるが、多数の力で押し通すという政治が横行。公約違反は、政治不信になっている。問題ではないか。

**町長** 細川政権下で、長年の自民党の1党による政権から二大政党によるバラ色の選挙制度と言われたが、選挙制度より政党・政治家の資質のほうが大切だと思っている。

**質問** 憲法改正(改憲)につながる危険性があるが、どう考えるか。

**町長** 憲法は国家・国民の基本であり今まで何度もそうしたことがいわれ、小泉政権下では3分の2を超える与党勢力になつても改正とならなかつた。国民の一人として、日本国憲法を大切にしていきたい。

**質問** 小学校の統廃合について、原点に戻り、現実的、最善の方向を再検討する考えはないか。

**教育長** 教育懇談会で提案したのは、統合すべきという案である。しかしながら、教育懇談会でのご意見を参考にしていきたい。

# 視覚による癒しの景観整備を

児玉信治 議員



**質問** 穂波温泉地区の急傾斜地、湯の原地区の保安林の針葉樹を土砂崩壊・風倒木・雪害等の危険度の軽減また、観光客のみならず、目で楽しんでいただけるように広葉樹に改植できないか。

**建設水道課長** この区域については、改植する場合は、斜面を管理している北信建設事務所と協議が必要。場所にもよるが、切っ放しではなく、斜面の安定に寄与する樹木を植樹することであれば基本的に許可すると聞いている。

**質問** この場所は、陸路でお見えになる観光客の皆さんが町内温泉郷を一望できるところだ。カエデ等改植できたら新緑、真っ赤に紅葉した木々は、お客様の癒しとなるだろう。そこで片内横断的に「住む人、訪れ

る人に癒しの環境づくりプロジェクト」を作り事業推進する考えは。

**町長** 提案の趣旨は結構であり賛同できる。町では景観条例も制定しており各地区で住民協定を結ぶなど、自主的に地域の景観形成に努めていただく事は良いことだ。すばらしい景観整備を、住民協定を結びながら行政として支援できるもの、

相談、協力できるものについては、具体的な内容がでなければ、その時点で相談させていただく。また、個々の内容についても必要の都度、こういう事はどうかという事があれば、各課、上部機関である建設事務所、地方事務所へつなぐ。

**その他の質問**

- 教育懇談会について
- 町内の用水路について



町内の温泉郷が一望できる所だが現在は？

# 中1ギャップの現状と原因は

望月貞明 議員



**教育長** 平成21、22年は1桁いたが23年からのカウンセリングで減少し、本年はいなくなつた。原因は様々あり、一概に小学校の少人数教育とは言えない。

**質問** 複式学級は学年を超えて学び合う形態から、リーダーシップや自主学習の習慣、落ちこぼれがない等の長所がある。これらは小学校あり方委員会等で議論し尽くされたと思うか。

**教育長** 少人数学級を含め複式学級についても議論し尽くされたと理解している。



小学校の教育環境は中学生にどんな影響があるのか？

**質問** 秋田県が学力テストで全国1位になったのは少人数教育の成果では。

**教育長** 秋田県の学力が高いいのはいろいろ要因がある。

**質問** 小学校統合の若者定住、町づくりへの影響は。

**町長** 若者定住、プラン利用者は通勤、勤務先の関係重視する傾向があるので影響はないと思われる。

**質問** 27年度子ども子育て支援法施行に向け、25年度から現場のニーズを把握する会議設置が必要になるか。

**町長** 国の指針に従い新たな計画づくりを進めたい。

**質問** 町の粗大ごみ収集の半分は小型家電である。年2回の粗大ごみ収集の1回を小型家電の収集に回し、25年度施行の小型家電リサイクルを推進できないか。

**健康福祉課長** これから、政省令、ガイドラインが示されてからから検討したい。

**質問** 雪室の節電効果は。

**総務課長** 電気冷房の1/3になると試算されている。

**質問** 雪室で地元産食品の価値が上がると期待されるが、その宣伝戦略はどうか。

**総務課長** 実験を通し、統一シール等を考えたい。

# 小学校問題と行革

黒岩浩一 議員



**質問** 28年度4校統合案は杜撰で拙速。①あり方検討委のわずか5回の審議は不十分、②町内各地の教育懇談会は本来事前にやるべき、③配布資料が杜撰(根拠法規引用の誤りや児童数と前期基本計画中の人口減底入れ計画との整合性が不明等)、④北小28年度複式学級移行不可避と断言したのは強引な世論誘導、⑤町内複数学級校と単数学級校の得失研究が不十分、⑥4校統合論議よりもまず切迫した北小問題の現実的解決が先決では、等々。

**教育長** あり方検討委の多数意見を尊重した。大規模校・複数学級は児童の社会適応教育と教員の資質向上には有利。色々あるが、今回提案により町内議論を活発化したことは良かった。

**質問** 教育委員会の独立性は尊重すべきだが、プロセスにつき杜撰・拙速とかの批判がある場合は、町長のチェックと指導が必要では。

**町長** 逐一報告は受け、プロセスは正しいと理解する。

**質問** 行革実施計画の各種審議会等の整理見直しが進まない。総務課長の「審議会整理不要発言」の真意は、総務課長 固定メンバーでなく多くの町民の方々の審議会参加が望ましいと考え

たもので、行革推進に後ろ向きという訳ではない。

**副町長** 私は未だその辺りすつんと胸に落ちていない。

**質問** 審議会等への多数町民参加は、聞こえは良いが結局行政の広報手段または町民参画の形付けだけで実質は町からの上意下達になりかねない。もっと工夫を。

**その他の質問**  
○町長の政治姿勢など



4小統合は、本当に児童と町のためになるのか

## みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	請願・陳情者	審査結果
陳情第6号	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書	長野市高田276-8 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採 択
陳情第7号	国立病院と地域医療の充実を求める陳情書	長野市上野2-477 全日本国立医療労働組合 東長野病院支部 支部長 若林 教悦	継続審査 (更に慎重な審査を必要とするため)

## 第6回山ノ内町議会報告会が開催されます

1月20日(日)	北部公民館	開始時間 15:30
1月24日(木)	和合会館	開始時間 19:00
1月27日(日)	ほなみふれあいセンター	開始時間 15:00
1月30日(水)	よませふれあいセンター	開始時間 19:00
2月1日(金)	町文化センター	開始時間 19:00

大勢の  
皆様の参加を  
お待ちしております。

